

【別添資料】

要素	仕様	根拠、及び期待される効果
音色	メロディ	<p>①古代グレゴリア聖歌に使われていたとされるソルフェジオ周波数の「C=528Hz」を中心に、自然で心地よく感じる音域を選びました。</p> <p>②赤ちゃんが最初に産声をあげる時の音の高さと言われる「A(ラ)=440Hz」から純正律で調律した時に得られる周波数です。</p> <p>③赤ちゃんは大人より高い周波数帯の 5,000~7,000Hz を好むと言われています。</p> <p>独自の技術にて収録した金属音を主体に、3,000Hz 以上の心地良い高周波を豊富に含む素材を厳選しています。</p>
	リズム、 環境音	<p>ホワイトノイズに近い 音色主体</p> <p>あらゆる周波数を豊富に含んだホワイトノイズに近い生活音を中心に、心地良い高周波を豊富に含む独自の技術にて収録。 ノイズが落ち着く理由は母親の胎内音、血流音に近いからと言われていましたが、何の音なのかを脳が特定しにくくなる為にマスク効果として周囲の雑音が気にならなくなり、音によるストレスを緩和させる効果があります。</p>
リズム	ランダム ON	<p>4 小節毎にテンポ変化 (55~110 の範囲) 更に、上記範囲内で 加速/減速する事もある</p> <p>テンポ変化を分析した上、好奇心を引き付け、飽きさせず、かつ不快にさせない範囲に調整。</p>
	ランダム OFF	<p>テンポ=67(初期値)</p> <p>安静時心拍の平均値。</p>
楽典	音階	<p>メジャー・ペンタトニック (五音音階)</p> <p>殆どの子守歌や童謡に採用されている「ド・レ・ミ・ソ・ラ」の音階。 不協和音が発生しない構造の為、ごく自然と耳に入りやすい。</p>
	調性	<p>ハ長調</p> <p>「C=528Hz」を中心にメジャー・ペンタトニックを構成した時の調。</p>
	調律	<p>純正律</p> <p>全ての音同士の周波数が整数比となる様なチューニング法。音同士の関係にズレが発生しないため音が濁らず、最も綺麗に響く。</p>

※世界にあるほぼ全ての音楽は、演奏を簡単にするためピアノ鍵盤の様に1オクターヴを12等分割した「平均律」で出来ています。完全に純正律だけで曲を自由に作る事は不可能に近いとされてきましたが、当社独自開発の「演奏情報加工手段（特許出願済(特開2005-284220)）」を用いることで、完全な純正律だけを使った自動作曲に成功しました。

G      A      C      D      E